



ハマベエンマムシ



フチトリケンシガムシ



ホネゴミムシダマシ

海浜性昆虫からみた自然環境



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

第8回

北海道e-水フォーラム

北海道の水環境を守る活動に取り組んでいる支援団体の活動報告を行うとともに、世界各地を訪ね、昆虫の研究をされている大原昌宏教授に水環境保全の視点からご講演をいただきます。

2017年11月21日[火]

基調講演

「海浜性昆虫からみた自然環境
～北大太平洋海岸の生物多様性と水環境を考える～」

時間 18:00～20:30

会場 札幌国際ビル8F 国際ホール

札幌市中央区北4条西4丁目1番地
地下鉄さっぽろ駅8番出口直結

参加費 無料(定員120名) ※要事前申し込み・先着順

活動団体発表

- ・ 網走川流域の会(網走市)
- ・ 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク(札幌市)
- ・ KODOMOラムサールin鶴居村実行委員会(鶴居村)
- ・ 札幌市立北辰中学校科学部(札幌市)
- ・ 後志地域生物多様性協議会(黒松内町)
- ・ 尻別川の未来を考えるオビラメの会(ニセコ町)
- ・ 北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ
グローバルアクションプロジェクト(北見市)
- ・ NPO法人丸瀬布昆虫同好会(遠軽町)
- ・ UWクリーンレイク洞爺湖(洞爺湖町) ※五十音順



講師：大原 昌宏氏(おおはら まさひろ)
北海道大学総合博物館 教授・副館長

日本は世界で6番目に長い海岸線をもつ国です。海岸は陸と海が接する特殊な環境で、独特な生態をもつ昆虫たちが生息しています。北海道からアメリカ西海岸まで、1万6000キロにわたり続く海岸線において、その自然環境と生物の多様性はどのように変化していくのでしょうか。海浜性昆虫調査の視点から、北太平洋の海岸保全と水環境を皆様と考えたいと思います。

プロフィール

昭和36年東京都生まれ。鹿児島大学理学部卒。北海道大学農学研究院博士課程単位取得退学、博士(農学)。小樽市博物館学芸員、北海道大学農学部助手、総合博物館助教授・准教授を経て2011年から現職。昆虫分類学、特に甲虫類のエンマムシ科の分類学が専門。昆虫採集調査、標本調査で世界各地を訪ね、自然環境と博物館を見て回っている。博物館活動では、国内最初の分類学人材養成のバラクソンノミスト養成講座の活動をはじめ、札幌周辺の社会教育施設連携のCISEネットワークの代表を務める。

参加
プレゼント!

ご参加いただいた方には
「ジョージアサントスプレミアム」
北海道限定デザイン&
「いろはす」をプレゼント!

※「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインの売り上げの一部は「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されています。



写真:アメリカ・オレゴン州 Manzanita

<お申込み・お問合せ先> 公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト事務局

TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812 E-Mail emizu@heco-spc.or.jp

※FAX、E-Mailの方は、お名前(ふりがな)、ご所属、お電話番号をお知らせください。いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催：北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団

北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。北海道e-水プロジェクト
この印刷物は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO₂削減事業ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。

